



TOGAKU PRESS

TOGAKU生の活躍を
応援するマガジン

ワースタって、なんだろう？

在学生がTOGAKUの魅力を発信！
今年度から始動した学生集団「ワースタ」について深掘りします。
メンバーの素顔もご紹介！



TOGAKUの魅力をPRする
学スタ&ワースタを徹底調査！

27団体が活動中！
公認学生団体図鑑

初代ワースタ
(ワーク・スタディ・スタッフ)

メンバー6名の詳細はP.4へ
P.12ではワースタの自強不息をご紹介します！

徹底調査

学生
スタッフ

TOGAKUの魅力をPRする

ワーク・スタディ・
スタッフ

学スタ & ワースタは どんな活動をしているの？

TOGAKUには、学外に向けて自校の魅力を発信する学生集団がいるらしい！
彼らは「学スタ」や「ワースタ」と呼ばれ、主にオープンキャンパス時に現れるようだ…。
そんな情報をキャッチし、さっそく徹底調査してみることに。
一体どんなメンバーが、どのような活動をしているのでしょうか？

Welcome to our open campus!!



高校生の質問に
答えます！



学内を
ご案内！



Live streaming!

そもそも、学スタやワースタって何？

応募方法や活動内容を知りたい！

学スタ（学生スタッフ）やワースタ（ワーク・スタディ・スタッフ）は、いわば学内インターンのようなもの。報酬を得ながら大学の広報業務に携わる学生たちのことです。毎年、春学期に募集があり、書類や面接による選考を経て、採用されたメンバーが活動しています。

学スタは、現在1～4年生まで24名が在籍。主な業務はオープンキャンパス（OC）の案内役で、来学した高校生や保護者の方々に学内の説明を行います。

一方のワースタは、今年度スタートしたばかりの制度で、初年度は1～4年生まで6名が在籍。OCの案内役に加え、広報動画への出演、アンケート協力、事務作業など、より広範囲の広報業務に携わります。このワースタを創設した経緯について、入試室の担当者に話を聞きました。

「ワースタは名称の通り、『働きながら学びたい学生』を応援する制度として新設しました。そのため、月20時間程度の勤務時間を定め、安定した収入を得られる

ようにしています。上級生はもちろん、意欲があれば新一年生も採用します」。

学スタやワースタについてもっと知りたいという在学生は、1号館1階の入試室まで気軽にお問い合わせを。

学スタとワースタの違い

	学スタ	ワースタ
報酬	あり	あり
勤務形態	フレキシブル	規定あり
活動内容	主にOC	広報業務全般

応募のきっかけや参加メリットは？

現役メンバーにアンケート調査！

実際に学スタやワースタとして活躍しているのは、どんな学生たちなのでしょう。アンケート調査を行ったところ、「人と話すのが苦手な自分を克服したくて挑戦した」という学生もいる様子。その他、「何か新しいことを始めたかった」、「高校生のときOCで学スタの先輩にお世話になり、自分もやりたいと思った」、「大学が好きだから」などの動機で応募した学生が多いことがわかりました。

また、「学スタやワースタを経験してよ

かったことは？」の質問には、「積極的になり、授業のグループワークでも発言が増えた」、「相手に何かを説明するとき、簡潔にわかりやすく伝えられるようになった」、「相手への気配りやマナーが身につく」、「アルバイトでも役立った」、「就活で他の学生と差別化できた」などの回答が。OCで受験生や保護者の方々と接したり、大学の職員と一緒に働くことで、さまざまなスキルが磨かれ、授業や就活などにも好影響を与えているようです。

学スタ、ワースタを
経験してよかったこと

BEST3



1位

コミュニケーション力が
アップした



2位

対人マナーや
気配りが磨かれた



3位

就活のアピール
ポイントになった

現役の
学スタが語る

わたしたち、こんな想いで活動しています！

OCの来場者の方が「何を聞きたいか」、「どんなことを求めているか」を相手の目線に立って想像して伝える、というのが学スタの役目だと思っています。尊敬する先輩から受け継いだその教えを、できる限り後輩たちに伝えていくのが私の使命。学スタをやっていると「話す力」が身につくので、人前で話す職業に就きたい人や、コミュニケーションの機会を増やしたい人は、ぜひ挑戦してみてください！



柳澤芽衣さん
人間科学科4年

高校生が大学を選ぶとき、学スタが決め手になることもあると思うんです。実際、僕が対応した高校生が「先輩に憧れて入学しました」と言ってくれたことがあり、うれしかったですね。最近はコロナ禍でOCのやり方が変わり、個別相談の機会が増えたので、個々の学スタの能力がより反映されていると感じます。自分は実体験を交えながら、良いことも悪いことも今まで以上にしっかり伝えるようにしています。



茅原優樹さん
現代経営学科4年

初代ワーク・スタディ・スタッフの素顔に迫る!

TOGAKUの「顔」ワースタ紹介

TOGAKU生の代表として選ばれた、初代ワースタはこの6名!

リーダー的存在の4年生からフレッシュな1年生まで個性豊かなメンバーに話を聞きました。

TOGAKUの「面倒見のよさ」を 自分の体験から伝えたいです

「もともと東洋学園大学が第一志望ではなかったのですが、学んでいく中で先生方の『面倒見のよさ』を感じられ、この大学を選んでよかったと思いました。そういった視点から、母校のよさを高校生に伝えたいと思い、ワースタを志望しました」と話す工藤さん。採用担当者によると、「4年生として下級生を引っ張るとともに、ワースタという組織の指標を示してほしい」という願いを込めて工藤さんを採用したそうです。

そんな工藤さんが今、最も力を入れているのは、ゼミでの研究。2年次から「グローバル化する世界におけるウイルス性出血熱」をテーマに研究を続けています。就活はすでに終え、金融業に内定していることから、空き時間はスターバックスやユニクロなどでのアルバイトに励み、さらにワースタとしても活動。6月のOC※では座談

会のライブ配信に参加し、大学の魅力を語りました。また、最近はワースタのシフト作成も担当しています。

「ワースタは、一般のアルバイトではできない経験や学びも多いので、自分の成長にもつながっていると思います」。

※OC：オープンキャンパス

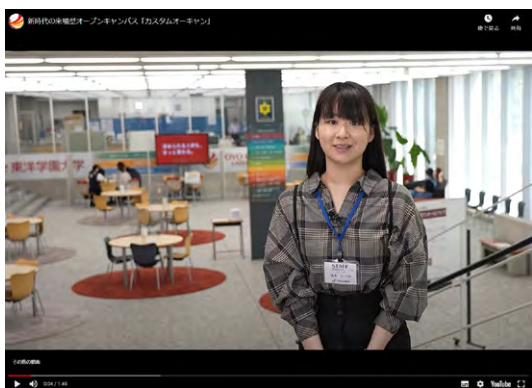


Genki Kudo

工藤源輝さん
グローバル・コミュニケーション学科4年



ワースタメンバーのシフト作成も担当



「カスタムオーキャン」の紹介動画にも出演

「ゼミでマーケティングを専攻していることもあり、『企業の広報活動ってどんなことをしているんだろう?』と興味がありました。それで、一番身近な学校だったら詳しく知ることができるのではないかと、ワースタに応募しました」と話す清水さん。実は1年次から学スタとして活動しており、今年度からワースタにシフトした形。採用担当者が「明るく、優しく、ま

じめで、非の打ち所がない」と太鼓判を押す人物です。

ゼミではゼミ長を務め、TOKYO MXとの産学連携プロジェクトではチームリーダーとしても活躍。勉強に力を入れる一方で、学外のアルバイトやワースタの活動にも取り組んでいます。工藤さんと同様、OC座談会のライブ配信に参加したり、「カスタムオーキャン(完全予約制、個別対応の

OC)」の紹介動画で出演&ナレーションを担当したりもしています。

「ワースタは、学校の『顔』という意識がすごくあって、いい緊張感の中で働いています。ワースタの仕事を通じて、落ち着きや臨機応変さも身についたと思います。知りたかった『大学の広報活動』の舞台裏も見られて、とても楽しいです!」

Izumi Shimizu

学生代表としての 緊張感を持って取り組んでいます



清水いづみさん
現代経営学科3年



Aira Suzuki

お世話になっている大学の 役に立ちたくて応募しました

「1年生の頃はコロナでやりたいことができず、2年生になって『何か新しいことがしたい』と思ったときにワースタのチラシを見て、お世話になっている大学の役に立ちたいと思って応募しました」と話す鈴木さん。採用担当者は、彼女の明るさや愛され力の高さに惹かれたとのこと。

勉強面では国際協力に興味を持ち、留学も目指しているそう。授業に加え、TOEICの勉強にも励みながら、ワースタとしても活動しています。「ワースタのシフトは週1〜2回くらい。授業の空きコマを有効活用して働けるのが、ワースタならではの魅力ですね。あと、入学後すぐにコロナ禍で大学に来る機会が少なく、上級生との交流がなかったのですが、ワースタの活動を通じて先輩たちとお話できるのも楽しいです」。

鈴木愛羅さん

グローバル・コミュニケーション学科2年

誰かの「憧れの先輩」に なれたらうれしいです

「以前、自分が大学見学に行ったときに、『こういう先輩がいたらいいな』という理想の人がいて、私も誰かの憧れの先輩になれたらいいなと思ってワースタに応募しました。高校時代にも学校案内をした経験があり、それが楽しかった、というのがありますね」と話す飯村さん。採用担当者によると、面接時の対人力の高さが印象的で、「高校生にとって『いい先輩』『見本にしたいお姉さん』になってくれるという確信があった」とのこと。

学業では、英語特別選抜クラスのALPSを履修するほか、今秋から日本語教員養成課程も履修。授業の状況を見ながら、ワースタのシフトを組んでいます。

「OCで高校生と接するときは、相手に合わせて『話しかけやすい環境』を作るようにしています。この経験は、学外のアルバイトでも役立っていますし、将来就職したときにも活用できると思います」。



OCでの高校生対応の様子

Riko Imura



飯村莉子さん

グローバル・コミュニケーション学科2年



Kazuma Ishida

シャイな自分を 変えていきたいです

石田和馬さん

現代経営学科1年

「初対面の人と話す緊張して頭が回らなくなってしまい、ずっと苦手意識を持っていました。でも、社会に出る前に克服したい、自分を変えるきっかけにしたいと思って、ワースタに応募しました」と話す石田さん。採用担当者によると、「1年生ながら面接にスーツで登場する気合の入りで、意気込みや覚悟を感じた」とのことです。

学業では、「将来、服に関わる仕事がしたい」と経営について勉強中。その他、自主的にMOS資格の取得も目指しています。また、学園祭運営局にも所属するなど、多忙な日々を送りながらも、ワースタとして奮闘中。最近はOCで感謝の言葉をいただくことも増えたそうです。「受験生や保護者の方とお話したあと、『わかりやすい説明でした』と言ってくださる方が多くてうれしいです。でも、まだ固くなりがちなので、フレンドリーに話せるようにしたいです」。

高校生との目線の近さが 自分の強みです!

Nanaka Furusaki

「ワースタに応募したのは、友達を作りたいかったのと、新しいことにチャレンジしたかったから」と話す古崎さん。採用担当者によると、面接にカラフルな髪色で登場して驚いたものの、実は「1日1ページ英単語を覚える」といった努力家な一面もあり、「勉強もプライベートも全力で楽しむ等身大のTOGAKU生として、高校生に接してほしい」と採用したそうです。

古崎さん自身も、「高校生との目線の近さが自分の強み」と話し、OCでは高校生の気持ちに寄り添う案内を心がけているといいます。

「ワースタの仕事はOCだけでなく、大学の職員さんと一緒に働く機会もあり、すべてが新鮮。『社会人ってこんな感じなんだ』と知ることができて楽しいです。あと、先輩方との交流もあり、空き時間に時間割や単位の取り方の話なども聞けて、すごくお得だと思います(笑)」。

古崎菜名加さん

グローバル・コミュニケーション学科1年



TOGAKU NEWS

学生たちの活躍や、学校からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！



最新ニュースは
こちら

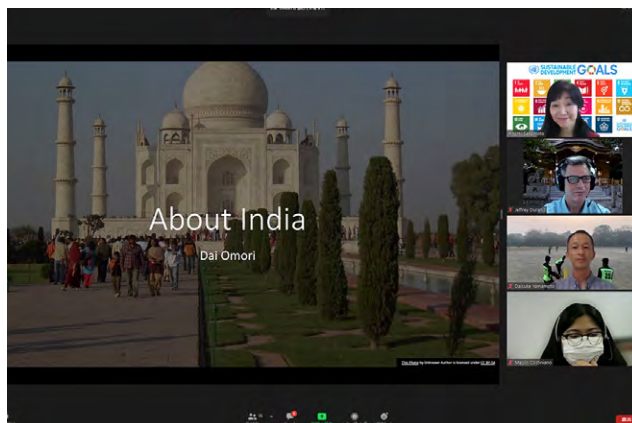
国際キャリアプログラム (ICP)

ICP2年生がインド大使館一等書記官へ 英語でオンラインプレゼン



昨年度からインドに関する研究プロジェクトを行っている国際キャリアプログラム(ICP)。今年7月には、インド大使館の一等書記官であるカーン・ヤダブ氏をゲストに招き、2年生10名がオンラインプレゼンを実施。インドの食文化やヨガ、祭りなどをテーマに英語で発表を行いました。

また、2年生の授業の一環として、元江戸川区議会議員で全日本インド人協会会長のよぎ氏(本名: プラニク・ヨゲンドラ氏)をオンライン招聘。日本で暮らすインド人の視点から、多文化共生について英語で解説いただきました。



インドをテーマにしたオンラインプレゼンの様子

人間科学部



コロナ禍でも地域とつながるために オンライン夏祭りを企画

「犯罪学ゼミ」(宮園久栄教授)では、地域住民の方々とのつながりを深める取り組みとして、地元「大横丁通り商店街」の納涼祭にボランティア参加してきました。しかし、コロナ禍の影響で昨年・今年の納涼祭が中止に。そこで、ゼミのブログを使った参加型オンライン夏祭りを企画・実施しました。

今年のスローガンは、「人と人がつながるコロナに負けるな!」。夏休み中の子どもたちが自宅で身体を動かして楽しめるように、スーパーボール作りや盆踊りなどのコンテンツを提供したほか、防犯クイズも配信しました。



グローバル・コミュニケーション学部

新国立競技場の定点観測プロジェクトを NHK「あさナビ」で紹介



2016年～2020年までグローバル・コミュニケーション学部の荻野ゼミ(当時)・泰松ゼミの学生が取り組んだ「新国立競技場建設 定点観測プロジェクト」が、7/24のNHK総合「あさナビ」で紹介されました。

中継には、泰松範行教授と本学卒業生の佐藤佑輝さん、山崎紗代子さんが出演。約4年間、2つのゼミ・全36名の学生がリレーしてきた定点観測プロジェクトについて、オリンピックを機にたくさんの方に知っていただく機会になりました。

英語コミュニケーション学科

小学生への英語支援活動について グローバルな舞台で発表



We had an online meeting and helped their English.

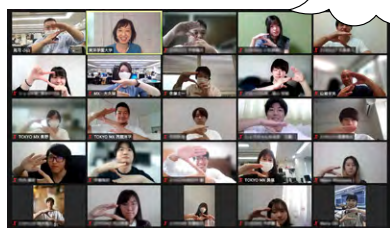


「児童英語教育ゼミ」(坂本ひとみ教授)の3年生が、国際NGO iEARN (アイアーン)のグローバル・エキシビションに参加。今回のエキシビションは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」をテーマに行われ、世界11の国・地域から約50名の教員と中高生がオンライン参加しました。

坂本ゼミの学生たちは、福島や東京の小学校で実施してきた児童英語教育の活動を報告。「オリンピック・パラリンピック」をキーワードに、小学生への英語支援を行ったことを発表しました。

さまざまな産学連携プロジェクトが 各ゼミで進行中!

現代経営学部では、都心のさまざまな企業との産学連携プロジェクトを進行中です。「マーケティングとメディアゼミ」(八塩圭子教授)は、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)と連携し、テレビ離れが進むZ世代へのマーケティングを研究。また、「マーケティング戦略/プロジェクトマネジメントゼミ」(本庄加代子准教授)は、ベルギー発の家具メーカー SIXINCHジャパンと連携し、ブランド戦略の提案を行っています。

TOKYO MXと
コラボ!

八塩ゼミ



本庄ゼミ



安藤ゼミ

SIXINCHと
コラボ!

さらに、「新商品開発ゼミ」(安藤拓生専任講師)は、本学広報室と連携して4・5号館新エントランスをテーマにした研究を実施しました。現在はゼミの枠を飛び出し、学生発のプロジェクトとして新エントランスの活用施策を大学ぐるみで検討中。今後の展開が期待されます。

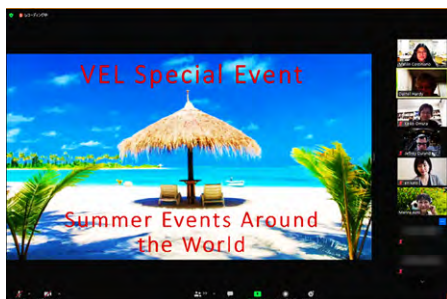
“Virtual SHSU×
TOGAKU”の
詳細はコチラ!



コロナ禍でも世界とつながろう!

本学では、コロナ禍でも学生たちにグローバル体験を提供するべく、さまざまな取り組みを行なっています。6月には、オンラインイベント“Virtual SHSU×TOGAKU”を開催し、アメリカのサム・ヒューストン州立大学(SHSU)と本学学生とのオンライン交流が実現。本学からは、のべ約330名の在学学生が参加しました。

また、インターンやネイティブ・スピーカー、バイリンガルの教員とのふれあいを通じて英語を学べるVirtual English Lounge(オンライン)も実施中。イベントも活発に開催しています。

夏に行われたVirtual English Loungeの
オンラインイベント

3年生が授業の中で オンライン就活を疑似体験

3年次必修科目「キャリアデザイン」にて、オンライン就活を疑似体験する「模擬就活」が行なわれました。外部講師を面接官役に招き、企業が採用活動に多用するZoomを使って、本番さながらのグループ面接とグループディスカッションを実施。学生たちは、今後の就職活動に向けてヒントや手応えを得られたようです。



詳細・事前
登録は
コチラ!

現代経営研究会を オンライン開講中

企業トップに経営を学ぶ「現代経営研究会」をオンラインで開講中です。9/29より隔週水曜、全6回を予定。聴講無料(要事前登録)でどなたでもご参加いただけます。



第1回講演の様子

難関資格を取得した学生たちに学部長賞を授与

本学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。今年度は10月までに6名が表彰されました。

[学部長優秀賞]

■日本商工会議所主催

2021年度 簿記検定試験(2級)合格

現代経営学科3年 澤田一輝

現代経営学科3年 田賀系琉人

2020年度 簿記検定試験(2級)合格

現代経営学科3年 西田健太

■「国内旅行業務取扱管理者試験」(国家資格)合格

グローバル・コミュニケーション学科3年 花輪未希

■「保育士試験」(国家資格)合格

人間科学部4年 坂口沙弥

[学部長奨励賞]

■公益財団法人色彩検定協会主催

2020年度色彩検定(2級および3級)合格

現代経営学科3年 向野帆香



西田さん

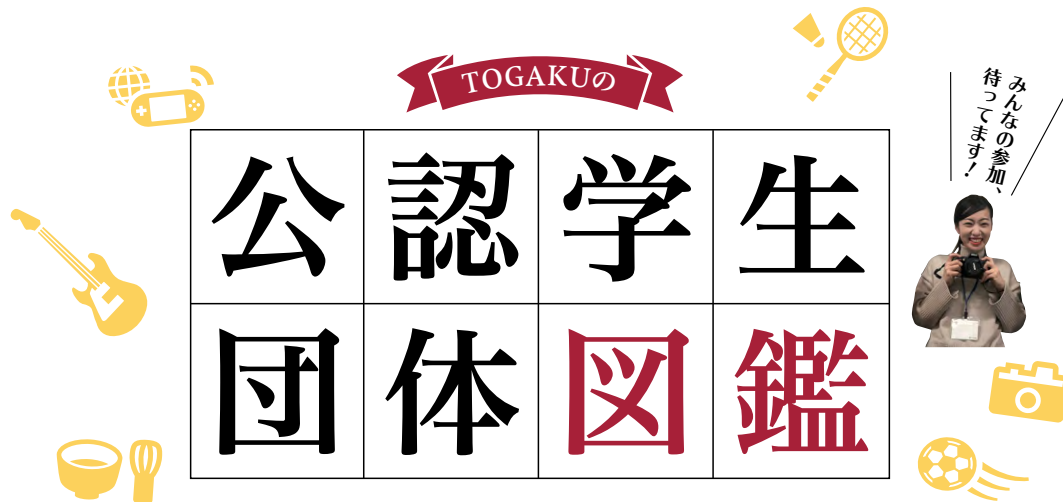


向野さん(左)と澤田さん(右)

フェニックス・モザイクの 60周年企画展を開催

大学のシンボル「フェニックス・モザイク」の竣工60周年を記念して、東洋学園史料室が企画展を開催。失われたモザイク作品の断片など、貴重な展示物をぜひ見に来てください(入館無料)。会期: 2021年11/8(月)~2022年1/28(金) 会場: 1号館9階史料室 ※入館方法や時間、休館日はHPで確認を。





校内イベントの企画・運営などに携わる「委員会」から、
大学公認の部活動である「クラブ」、同じ趣味の仲間が集う「サークル」まで、
TOGAKUには現在27の公認学生団体があります。
興味ある団体に所属して、学生生活をもっと充実させてみませんか？

委員会

学生会運営部



学生団体
紹介イベント&
ポスター展示の
詳細はコチラ！



イベントの企画・運営や、学生団体のまとめ役として活躍する学生会運営部

学生会運営部は、高校で言う生徒会のような団体です。「自分たちを含めた在学生が、より良い大学生活を送れるように」をモットーに、主にイベントの企画・運営を行っています。たとえば、新入生歓迎行事や七夕、クリスマス会などを開催。また、学生団体全体(委員会・クラブ・サークル)のまとめ役としても活躍しています。

そんな学生会運営部が今、最も心配しているのが、「学生団体が存続の危機にある」ということ。コロナ禍でPRの機会が

失われ、新入部員の獲得に苦戦している学生団体が多いからです。そこで秋学期のスタートに合わせ、学生団体を紹介するイベント&ポスター展示(上写真)を企画・開催しました。

「どういう団体がどんな活動をしているのかわかりにくい、という在学生の声もあったので、全27団体それぞれの活動を紹介するポスターを作り、展示することにしたんです」と学生会運営部員。ポスターの制作にあたっては、各団体の代表者一人

ひとりに連絡を取り、ヒアリングを行ったそうです。

このほか、SNSでの情報発信にも力を入れている学生会運営部。「学生団体という在学生のコミュニティを守りたい!」という想いを胸に、コロナ禍でもがんばっています。

学生会会長の臼井さんによると、「学生会運営部のメンバーも募集中。学年を問わず大歓迎です!」とのことなので、興味のある在学生はぜひ。

学園祭運営局

フェニックス祭を企画・運営 オンライン開催にも挑戦！

学園祭運営局は文字通り、本学の学園祭であるフェニックス祭の企画・運営を行う学生団体です。メディアPR班、企画班、芸能班、MC班、屋台班という5つの班に分かれて活動し、それぞれの持ち場からフェニックス祭を盛り上げています。

コロナ禍で開催が危ぶまれた2020年度は、本学史上初となるオンライン学園祭にチャレンジ。前例がない中、準備に苦労しながらも、ライブ配信×録画映像を組み合わせた新しいスタイルのフェニッ



約60名のメンバーが所属。班ごとに役割分担を行う。

クス祭を確立しました。その結果、総視聴回数 10,079回(最大同時視聴者数 1,118名)を記録する大盛況に。「オンラインでも開催できる」という実績を残し、2021年度のオンライン開催につなげました。

今年度のフェニックス祭のスローガンは、「Be Yourself and Face the Future」。私たち学園祭運営局の「自分たちらしく、未来に向かって、新しいことに取り組んでいきたい」という気持ちを込めました！



学園祭運営局
29代目局長
兼平拓海さん

第29回 東洋学園大学

フェニックス祭～郷郷祭り～

Be Yourself and Face the Future

10月16日(土)、17日(日)に
オンライン開催！





オンライン配信の舞台裏で走り回っていた学園祭運営局。

フェニックス祭の詳細はコチラ！





軽音楽部Rhymeの演奏。体育館のステージでパフォーマンスし、リアルタイムで配信。



完成度の高いダンスを披露したExtreme☆Steppers。

昨年に続き、大盛況となったオンライン学園祭

2日間にわたってオンライン開催された今年のフェニックス祭には、在学生だけでなく、学外の方々も多数参加。ライブチャットには昨年以上にたくさんのメッセージが寄せられ、画面の向こうの盛り上がりぶりが伝わってきました。

学園祭運営局の奮闘により、豪華ゲストの出演も実現。毎年恒例のよしもと笑いライブにはアインシュタインら3組を、アイドルLIVEにはAKB48チーム8の3名を招致しました。さらに、人気声優のトークショー、ユーザーを迎えたゲーム対決などの新企画

も行われました。

学園祭運営局のオリジナル企画に加え、クラブ・サークルの「発表の舞台」にもなっているフェニックス祭。Lover's、Rhyme、Heavenly Gospel Team、Extreme☆Steppersは、体育館のステージで音楽やダンスを披露し、その様子をライブ配信。コロナ禍で活動の機会が減る中、「ステージに立ててうれしい」と感極まる部員の姿も。また、劇団ハレっけは、事前に録画した演劇作品の上映を行いました。

SCHOOL OF LOCK!との コラボ企画が今年も実現

TOKYO FM「SCHOOL OF LOCK!」のこもり校長 (GENERATIONS from EXILE TRIBE) と、TikTokで女性日本トップのフォロワー数を誇る景井ひなさんが特別授業を実施。アーカイブを12月末までの期間限定で公開中です。アクセスはこちら→



各団体からの
メッセージをご紹介します！

2021年10月版

公認学生 団体図鑑

前ページで紹介した2団体以外にも
魅力的な団体がたくさん！



委員会

体育祭運営局

年2回開催される体育祭を運営するために活動しています。運動が苦手でも大丈夫。一緒に体育祭を盛り上げましょう！



委員会

卒業記念委員会



イヤーブック（卒業アルバム）の制作をしている委員会です。ただいま新入部員を大募集中！お気軽にご連絡ください。

クラブ

バドミントン部

経験者はもちろん、初心者も大歓迎です。私たちと一緒に楽しくバドミントンをしませんか？



クラブ

Extreme☆Steppers

初心者も経験者も楽しめるダンスクラブです。さまざまなジャンルのダンスを練習し、年間たくさんイベントを行っています！



クラブ

TOGAKUパラスポーツ



オンラインで体操をしたり、体育館ではボッチャをはじめとするさまざまなパラスポーツに挑戦できます！

クラブ

Rhyme

軽音楽部のライムでは、複数のバンドに分かれて活動中。音楽だけでなく、部内でスポーツ大会を行ったりもします。



クラブ

Heavenly Gospel Team



ゴスペルと聞くと「難しそう」と思うかもしれませんが、歌うことが好きな方にはおすすめです。音に合わせて楽しく歌っています。

サークル

Creators

アニメ、マンガ、ゲーム好きが集まり、親交を深めながら絵を描くサークルです。部員と話しながら、一緒にまったり絵を描きませんか？



サークル

茶道同好会



部室で茶道のお手前を練習したり、先生を招いてお稽古をすることも。部員のほとんどが初心者スタートなので、初心者も大歓迎です。

サークル

Healthy child

週に一度、体育館で屋内スポーツをする団体です。スポーツが好きな人、いろいろな人と仲良くなりたい人におすすめです。



サークル

EARTHIAN



清掃活動、イベントスタッフなどのボランティアをしています。いろいろな人と交流でき、就活の話題作りにもなりますよ。

サークル

サンダース

バスケットが好きな方の入部をお待ちしています！週に一度、体育館で活動中。初心者・経験者問わず、仲がよいサークルです。



サークル

Cetus



主にイラストや雑貨を制作しています。学園祭にて制作物の展示・販売も。興味がある在学生はお気軽にご連絡ください。

サークル

Lover's

一緒に音楽を奏でる仲間を募集中！初心者や未経験者大歓迎、音楽のジャンルも問いません。好きな音楽を自由に楽しめます。



サークル

劇団ハレっけ



学園祭や自主公演に向けて、毎週月・水に活動中。現在の部員は女子7名、男子3名です。未経験の方、裏方希望も大歓迎です！

サークル

人を知る会

心理学の勉強をしています。興味のある在学生は、ぜひ見学にきてください。



サークル

TOGAKU esports



さまざまなゲームの試遊会や、サークル内での大会、対戦会を行っています。ゲームが好きな人の入部をお待ちしています！

サークル

ESS

英会話によるコミュニケーションを目的としたサークルです。英語を話せるようになりたい方や、英語に興味がある方、大歓迎です！



サークル

東洋フッカー



2019年8月に結成。サッカーとフットサルを練習しているサークルです。

サークル

東洋学園大学女子バレーボール部

新入部員を大募集！経験者はもちろん、未経験も大歓迎！マネージャーも募集しています。一緒にバレーボールをしませんか？



サークル

Cultures



アニメやゲーム、特撮などを研究するサークルです。部員同士でお互いの好きな作品に関する討論をしたり、聖地巡礼などを行っています。

学生団体あれこれガイド

各学生団体の詳しい情報は、『HP「学生団体あれこれガイド」』をチェック！



サークルの新設も可能！

現在あるサークルの中に自分のやりたい活動内容がない場合、サークルを新設することも可能。メンバー5名と顧問（教員）を集めることで申請できます。



TOGAKU SPORTS

運動部活性化指定団体の男女テニス部と硬式野球部に加え、活躍が期待されるスケート部の活動状況をお知らせします！さらに、個人で活動しているアスリート学生の活躍にも注目です。

クラブ

男女テニス部

流山スポーツ施設を拠点に活動している男女テニス部。コロナ禍で団体戦の関東大学テニスリーグが2年連続中止となるなど、厳しい状況が続いていますが、各部員は公式戦に向けて練習に励んでいます。男子テニス部の小野海斗選手（2年）は、初出場の全日本テニス選手権東日本大会（9月開催）でベスト8入りを果たしました！



クラブ

硬式野球部

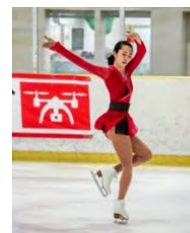
流山スポーツ施設を拠点に練習を積んでいる硬式野球部。東京新大学野球連盟2部リーグに所属し、9月に開幕した秋季リーグ戦では1部昇格を目指して奮闘中。9/19（日）の淑徳大埼玉戦では今季初のコールド勝利も！前半戦を首位で折り返す快進撃を見せ、10/10（日）時点では4勝2敗となっています。



サークル

TOGAKUスケート部

現在6名が所属するスケート部。そのひとり戸室梨々奈選手が、10月の東インカレ出場を前に意気込みを聞かせてくれました。



「昨年コロナの影響で試合ができなかった分、普段の練習や体づくりに力を入れてきました。納得のいく演技をして上位で予選通過することを目指したいです」。

個人アスリート

ダンススポーツ（個人）

本学2年の大西咲菜さんが、チェコ共和国で行われたダンススポーツの世界選手権に日本代表として出場。強豪選手の中で37位という自己ベストを記録しました。

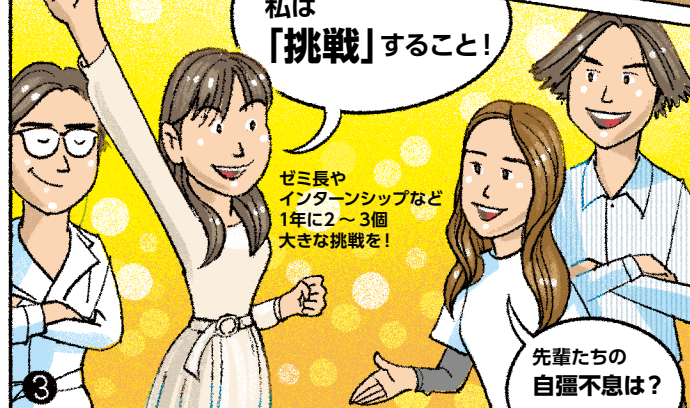


#自彊不息でいこう

Vol.2

今回は、
ワースタ6名の
自彊不息をご紹介。
各メンバーの詳細は
P.4-5をチェック!

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。



さすが本学をPRするワーク・スタディ・スタッフ(ワースタ)、意識高い!ワースタとしての活動はもちろん、それぞれの個性を活かした「自彊不息」を実践中。新しいことにチャレンジしてコツコツがんばっている人ばかりでした。ワースタって何?という人は、P.2~の特集記事をチェック!